

環境文教委員会

送付23-2

千代田区立麴町保育園を旧園舎敷地に戻すことを求める陳情

受付年月日 平成23年2月21日

陳 情 者

陳情書

(趣旨)

区議会の皆様におかれましては、平素より、千代田区の次世代育成支援政策に格別のご高配を賜り感謝申し上げます。

先日来、一番町にある千代田区立麴町保育園の旧園舎敷地および併設するおひさま広場を、民間が運営する認可保育園用園舎敷地として利用し、千代田区立麴町保育園は、民営化せずに三番町の仮園舎を本園舎として当面の間、存続するという方針が示されております。

麴町保育園の民営化については、保護者との間に協議会を設置するという事で決定してまいりました。しかし、麴町保育園父母の会からの再三の働きかけにもかかわらず、結局一度も協議会は開催されることなく、民営化撤回、仮園舎の本園舎化という方針変更が示されました。

民営化によって生じる可能性のあるリスクはなくなりましたが、現在、子どもたちが過ごしている仮園舎は、立地上、日当たりも悪く、専用園庭もありません。保護者は、仮園舎移転時、「仮園舎敷地は区の道路公園課が管理するもので恒久的な利用はできないし、周辺の住民の皆様にも数年ということで、仮園舎設置を了解していただいたので、仮園舎での保育が一定期間に留まる」と説明を受けてきました。今回の方針変更で、仮園舎での保育が一定期間に留まるという前提が大きく崩れました。

また、麴町保育園の民営化計画は撤回されたとはいえ、保育園の待機児童問題が解消された後には、真っ先に区立麴町保育園が廃園の検討対象になる可能性が高いことには変わりありません。

そもそも、仮園舎への移転は麴町保育園の園舎老朽化を解消するということが一番の目的であった以上、民営化の実施とは関係なく、一番町の旧園舎敷地に建築される新園舎は麴町保育園が利用するのが本来の姿であると思われます。

仮園舎移転時に計画されていたとおり、麴町保育園を一番町の旧園舎敷地に建築される新園舎に戻していただけるよう陳情いたします。

平成23年2月21日

千代田区議会議員 桜井ただし 殿